



◆◆ 2学期始まりました！ ◆◆

夏休みが終わり、二期が始まりましたね。まだまだ暑い日は続きそうですので、体調管理に気をつけて涼しい室内で読書に励むのがベストです！多読賞レースも既にスタートしています。今学期は一番長いレースになります。地道にコツコツ本を読みましょう。期間中には読書週間もあり、図書館でのイベントも行うのでお楽しみに。少しずつ入ってきている富士桜育英会からの寄贈図書は、来月号にて紹介します。

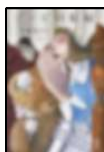


check BookTopic1

第175回 芥川賞・直木賞 決定！

今回は直木賞候補作にオードリー・若林正恭さんの初小説『青天』が入り、話題となりましたが、惜しくも受賞ならず。芥川賞は小砂川チトさん、直木賞は朝倉かすみさんが候補三回目でそれぞれ受賞しました。

◆芥川龍之介賞『ゾンビ回収婦』小砂川チト 講談社



わたしはこのホテルの、たったひとりの掃除婦。殺されたゾンビの骸を拾い集めて、世界を美しく保つのだ。AI〈やつら〉に侵食された世界で、夫とともに職を失ったわたしーの前にもうひとつの現実がたち顔れた。良い子で大人になったわたしは、これまでと変わらずに、懸命にひたむきに役割をこなしていく。

1990年生まれ。2022年「家庭用安心坑夫」で第65回群像新人文学賞を受賞しデビュー。「家庭用安心坑夫」第167回芥川賞候補、「狼の戴冠式」第170回芥川賞候補、第37回三島由紀夫賞候補、第46回野間文芸新人賞候補。

◆直木三十五賞『けんぐわい』朝倉かすみ 光文社



利発だが酷い痘痕の姉ふゆ。逆上せ癖で繰繰よしの妹りよ。幼くして父を亡くし、ふゆは手習師匠の手伝いに、りよは船宿の下女奉公に出された。師匠の養子・宗三郎からひどい目にあわされたが、現人神と崇められる女医者と出逢い、人生は大きく変わっていく。

1960年生まれ。2003年「コマドリさんのこと」で第37回北海道新聞文学賞を、04年「肝、焼ける」で第72回小説現代新人賞を受賞。05年兩作品を収録した『肝、焼ける』でデビュー。『田村はまたか』第30回吉川英治文学新人賞受賞。『平場の月』第32回山本周五郎賞受賞、第161回直木賞候補。『よむよむかたる』第172回直木賞候補。

check BookTopic2

防災について考えよう！

－8月30日～9月5日は防災週間－

『大切な家族を守る おうち防災』



水害や地震といった災害に向けて備えるべきことを、最新情報や専門家の分析をもとに紹介。自宅を最強の避難所にする方法、非常持ち出し袋の作り方を解説する。

奥村奈津美 辰巳出版

『地理の基本 防災編』



台風や水害、地震や火山活動は、なぜ日本に多いのか？自然災害が起きる理由を「地理学」の視点から解説したテキスト。

山川出版

『大災害からいのちを守る 科学図鑑』



地球科学の知識を学び、自分のいのちを守る。南海トラフ巨大地震、首都直下地震、富士山噴火についてビジュアルでわかりやすく解説し、いのちを守るために今できることや、大地震が起きたときにすべきことを紹介する。

鎌田浩毅 山川出版

関東大震災が起こった9月1日は防災の日、それを含めた期間が防災週間です。私たちの地域は噴火の恐れのある富士山があり、地震も多いです。最近は大雨も頻繁で、災害はいつ誰にでもふりかかるものとなりました。そこで、この防災週間に改めて【防災】を見直してみましょ。正しい知識を本から学び、万が一に備えていきましょう。

continue to the back



夏帆

村上 春樹 新潮社

この男はいったい何を告げようとしているのだろうか？「正直いって、君みたいな醜い相手は初めてだよ」26歳の絵本作家、夏帆は初対面の男にいきなりこう告げられた。とびきり美しくも賢くもなく、ただ少しばかり好奇心の強い彼女は、怒りよりもショックよりも、ただ純粋に驚いた。3年ぶり16作目となる女性を主人公にした初の長編小説。



ファイア・ドーム 上下

辻村 深月 小学館

25年前、平穩だったはずの地方都市は、百貨店受付嬢誘拐殺人事件の発生、その報道により揺り動かされ、「噂」という大量の炎が、加害者のみならず被害者にも降り注ぐ。傷ついた人々をさらに傷つけてしまった土地に、事件の火の粉は、まだ残っている。写生遠足の帰りに姿を消した少年は無事に帰ってくるのか？



多類婚姻譚

風良 ゆう 講談社

一緒に生きる。わかりあえないあなと。隣にいるあなが遠く感じる。どうして結婚はこんなに難しくなってしまったのだろう。セクシュアリティ/ジェンダー、金銭感覚、世代間格差、成育環境…あらゆる価値観の対立の中で現代を生きるわたしたちの祈りと叫び。現代の結婚をめぐる連作短編集。



どっちもある名言集

ベズル ライツ社

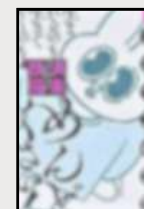
人生で大切なことはどっち？偉人ですら意見は割れている。正解は一つじゃない。「あきらめよう」「あきらめな」。今のあなたに必要なのは、背中を押す名言？あるいは立ち止まることを許す名言？ページをめくりながら、そのときにいちばんしっくりくる言葉を見つけられる正反対の名言を収録。



目が

背筋 ポプラ社

あなたを見つめます…。あの有名な靈感テストから始まる視線のホラー。都内の大学に通う「は、認知情報学の研究室に所属し「視線」について研究をしている。そんなある日、彼女が最近SNSで目にした、とあるネット怪談についての話を聞く。それは「視線」にまつわるものだった…。前作「口に関するアンケート」に続く、「ス」マホより小さいホラー小説。



生まれるのも生きていくのもめんどくさい

超訳シオランの言葉

済東鉄腸 訳 飛鳥新社

自分が生れてなかったらと考えてみる、ただそれだけで幸せ。「しんどい」を抱えるすべての人へ、暗すぎて元気になる「反出生主義」のススメ。ルーミアの作家・思想家・反哲学者シオラン。映画ライターで作家の済東鉄腸が、自分を救ったシオランの名言を厳選して超訳、紹介する。